

鹿野観光交流拠点施設整備 第2回住民説明会について

日時：令和5年8月30日（水）

【第1部】14：30～15：45 【第2部】18：30～19：30

場所：コア：コアプラザかの2階大研修室

参加者：【第1部】31名 【第2部】20名 合計51名

参加した皆さまからの質問、意見をまとめました。

【第1部】

	質問、意見等	市の回答
1	建物や敷地の景観を含めた全体のデザインをプロポーザル方式で行うのか	鹿野総合支所跡地の敷地全体とその上に建つ拠点施設、それを全部含めた提案によるプロポーザル方式を考えている
2	予算額を明記せずプロポーザル方式を行うのか	大体の予算は設定するがプロポーザル方式を行い、出来てくる成果物を見て調整していきたいと考えているので具体的な予算は決めていない
3	プロポーザル方式のテーマは何か	施設への思いと機能の必要性を入れ込んでいくことが重要と考えている。7ページに記載している機能と8ページに記載している施設の構造等上手く提案してもらいたいと考えている。また、観光振興プランを含めて鹿野地域の思いや地域資源をどう活用していくか、くみ取っていただけることが重要と考えている
4	ターゲットはどのように考えているか	ファミリー層、次にアクティブなシニア層を想定している。鹿野インターに近いので県外からの来訪者を狙うことも重要と考えている
5	子育て世代を狙うなら二次交通は電動機付レンタサイクルではなく、キックボード、電動スクーターではないか	電動機付レンタサイクルとの併用もあると思う
6	石船温泉の移転計画について公表できることがあれば	石船温泉憩の家は老人福祉法に基づいた施設である。併せて温泉機能があり、観光施設の一部という位置付けもある。築50年が経過し老朽化が進んでいるが、施設の一部が土砂災害特別警戒区域に立地し現時点での建て替えは困難である。今後の方針については、本年3月に作成した施設分類別計画で、当面継続利用とする方針を立てた。高齢者の心身の健康と福祉の増進に寄与しつつ、安全な場所に移転することも引き続き検討する
7	石船温泉について当面継続利用とはいつままでか	施設分類別計画は今後5年間の方向性を示す計画である。5年の間に様々な検討をし、ある程度決まったところではお示しできると思う
8	ターゲットはプロポーザル方式を行う際に業者へ示すのか	想定されるターゲットは必要である。今の時点では記載したいと思っている
9	9ページの施設の運営で3番目の委託、指定管理の併用はどうゆうことか	清掃や施設管理など業者でできるところを委託、柔軟的にできる業務は指定管理でやるなど選択肢のひとつとして掲載している
10	運営をどうするか地元と話し合いをしながら決めて欲しい	案などお話しいただければ聞かせていただく
11	子供の遊び場について	敷地面積に限りがあるので大きな遊具ではないが、屋外、室内に分けて子供が遊べる場等の案を、プロポーザル業者に提案してもらいたいと考えている
12	我々が安心でき、希望が持てるような提案をしてもらいたい	持続的に皆さんに喜んでいただけるような施設になるよう全力で対応していきたい

【第1部】

	質問、意見等	市の回答
13	どのような所から、どのような人を、 どういう手法で来てもらうかマーケ ティングを行い、次回説明をしてもら いたい	次回、このような集まる機会の中で報告させていただく
14	カフェ機能について、なぜ飲物、ス イーツのみの簡易的なカフェなのか。 なぜ食事を提供しないのか	観光交流拠点は地域内を周遊していただく起点の施設と考えている。 実際に外にあるお店に行って飲食していただく。食の魅力というのは 十分大きい要素だと認識しているが、そこに行ってもらいたい、ここ で完結してもらいたくないという思いである
15	電動自転車に乗って行って食べたいと 思わせる看板メニューを作らないとい けない	総合支所が地域の方のグループを作って特産品を考えたりするなど行 動されている。令和10年度の供用開始を目指して地域の皆さんと一 緒に特産品など開発すれば良いし、記載しているチャレンジショップ 機能において、調理はしないが色々な特産品などを紹介したい
16	カフェの大きさはどのくらいを想定し ているのか	簡易なカフェでプロポーザル方式で提案してもらおうが、外の広場に出 てドリンクを飲んでいただいても良いし、広い専用の飲食スペースは 必要ないと思っている
17	大変良いものが出来ていると評価した い	ありがとうございます
18	拠点だけではなく、地域周辺部の観光 地のボトムアップを同時に図らなけれ ばならない	体験型の観光などのコンテンツを地域の皆さんと一緒に開発してい かなければならない。令和10年度の供用開始時には色々な観光コンテ ンツが揃っているような形でスタートできればと思っている
19	総合支所の敷地内に暗渠の水路がある が、施設内の床面をガラス張りにして その下を通す方法、もしくは今流れて いる箇所を動かさずに水路を活かすの か	総合支所敷地内の暗渠については、下の田畑に影響する貴重な水路で あり、水利組合の皆さまと相談し調整中である
20	総合支所跡地の整備だけではなく、清 流通り、天神山公園の周辺を含めた借 景を取り入れることも考慮して欲しい	借景というご意見をいただいた。総合支所跡地の風景は、奥に天神山 公園が見えて、弾正糸桜もあるので、そこに入ったらパッと変わるよ うな場所にしたいと考えている。例えば電柱の埋設が可能であれば、 後方の緑も映えるのではないかと考えている

【第2部】

	質問、意見等	市の回答
1	拠点に整備する遊具は「鹿野ならで は」の特長があり、日常をときほぐす 観光」や「鹿野観光振興プラン」に 沿ったものでなければならないと考 える。大型遊具を整備するのであれば、 せせらぎ・豊鹿里パークなどで対応し たらどうか	交流拠点は、地域資源を周遊してもらおうことが目的。こどもが遊ぶ資 源は地域内にたくさんある。しかし拠点に来てもらいたい主なター ゲットを想定した際、ファミリー層になるだろうと考えている。その ためには子供が遊ぶものは必要。遊具の定義はいろいろあるが、整備 する拠点はまわりの景色と調和した施設と説明していることもあり、 違和感があるものは考えていない。鹿野地域は周南市の景観計画の中 でも重点地域であり、景観を崩すようなものはありえない
2	鹿野地域には魅力的なところが沢山あ る。地元の方が知らないなと思うとこ ろが多い。 拠点は鹿野の良さのイメージにつな がるような場所にして欲しい。鹿野に行 けば新しい発見がある。施設ができて 皆が良かったと思うものにしてもら いたい	建物の雰囲気や入った際の空間は、発言されたようなものを作りたい と思っている。主要道路からこの施設に入った瞬間に世界観が変わ るような施設。綺麗な小川が流れるような雰囲気づくりや、鹿野の木材 を使った建物、敷地内の電柱や電線への埋設等が可能であれば、見え る風景も変わり空間も変わってくると思っている
3	3月の説明会の際に、文化ホールを兼 ねた併設して建設することを検討して 欲しいと話をしたのだが、どう考 えているのか	今回の基本計画案の交流の拠点の欄に、ゆっくり休息できる居心地の 良さと利便性を兼ね備えた多目的に使用可能なスペースと記載してい る。そこで対応できればと想定している

【第2部】

	質問、意見等	市の回答
4	清流通りの一番漢陽寺寄りの浅い池のような施設は、灯ろう流しの出発点となり嬉しい思いであった。そういう場所があればもっと水と親しむことが出来るのではないかと思った	漢陽寺のそばの今回の場所であるとか、今後は拠点周辺の観光資源のポトムアップやブラッシュアップについても併せてできるような形にしていきたいと思っている
5	電動レンタサイクルを使った2次交通は高齢者を連れてきても乗ることが出来ない。地域公共交通との連携や高齢者もサポートでき、自転車だけではなく対応できるものがあれば良いのでは	自転車についても、キックボードなどの種類を増やしても良いのかなどのご意見もあった。高齢者に対しても孫と一緒に乗れるようなものがあったもよい。またコミュニティバスへの反映も可能かとも思う。大型バスの駐車スペースの確保や、バス停も範囲内で可能であれば大型バスの確保も景観とともに考えていき調整させていただきたい
6	徳山高専の発表がどこかで生かせることはないのか	徳山高専は模型であったり、パースであったり立派なものを制作していただいている。清流通りとの高低差の動線の部分は高専が作成された部分である。プロポーザルに生かされればと思っている
7	交流拠点は全体ではどのようなイメージになるのか	敷地としては約7800㎡あるが、現時点ではイメージした絵を出すことはできない。施設の面積按分は検討中。景観豊かで、大きなものではなく要望された機能も取り入れた施設にしていきたい
8	鹿野総合支所の建替えなど、鹿野地区は施設白書によると沢山の再配置の問題を抱えているが、交流拠点の整備は関連はあるのか	現在の総合支所は昭和46年に建てられ、新たな総合支所は、地域や機能に合った規模を縮小した施設としている。清流通りは観光文化ゾーンの位置づけであり、今回の交流施設はその拠点的施設として整備していく目的。観光に必要なものを整備していくという考えに基づいて整備を行っている
9	駐車場のスペースはどの位の広さを考えているのか	駐車スペースは確保し、大型バスへの対応も必要。将来的にはキッチンカーが入ってきてイベント等にも対応出来るようになるなど、それ以外にも使えるようになればいいと考えている。広さについては全体のスペースの中のランドデザインで提案してもらうこととしているが、最低限の広さは必要と考えている
10	大型バスは天神山公園の下など別の場所などに移動して置いてもらうなど、検討しても良いのではないか	敷地内では降車だけにして、天神山公園下で待機してもらうなどの考えはあると思う
11	どのくらいの予算で考えているのか	計画書の記載している導入機能は入れていきたいと考えているが、3月の説明会では大規模ではなく相応の大きさで、周囲の景観と調和した施設と説明している。その前提も踏まえどういう形で案が出来上がってくるのか、まずは見ていこうと思っている
12	説明会はこれで最後か	今回は、施設の機能を入れ来年度プロポーザル方式で進んでいくことを説明させていただいた。次回説明させていただくのは、施設のイメージをお見せするタイミング。それは令和6年度に入ってからとなる